

酒田市浄水施設運転管理等業務委託に係る

受託候補者審査基準

酒田市上下水道部

1 審査の方法

提案書に記載された内容について、次の方法に従い審査する。

2 審査項目別の配点

(1) 大項目の配点

審査項目 (大項目別)	配点
① 事業計画に関する事項	30点
② 運転管理等業務に関する事項	40点
③ 包括的管理業務に関する事項	40点
④ 緊急事態時における体制、対応に関する事項	30点
⑤ 地域貢献その他提案に関する事項	20点
⑥ ヒアリング時の対応	10点
⑦ 事業費に関する事項	30点
合計	200点

(2) 小項目の配点

審査項目 (小項目)	評価基準 (評価の視点)	配点
① 事業計画に関する事項		(30点)
ア 事業履行計画	本業務委託全般への理解、業務実施体制	5点
イ 事業遂行能力	業務実績、職員の資格	5点
ウ 配置予定技術者	業務経験、有資格者の配置	5点
エ リスク管理	リスク管理の方針と対策	6点
オ 環境保全に関する取組み	環境保全について具体的な提案状況	6点
カ 業務引継ぎにおける業務体制	業務引継ぎ計画と体制	3点
② 運転管理等業務に関する事項		(40点)
ア 運転管理等業務の基本方針	運転管理全般における方針、計画、妥当性	8点
イ 業務実施体制	具体的な業務実施体制、人員配置、実務経験	7点
ウ 各業務の実施方法	既存施設に対する理解 保守点検、日常水質検査、保安管理、物品管理、文書管理、衛生管理の実施	10点
エ 教育研修体制	教育研修等の実施計画	7点
オ 施設管理コスト縮減対策	運転管理における経費縮減対策	8点

③ 包括的管理業務に関する事項		(40点)
ア 包括的管理業務の利点を活かした業務遂行	業務における発注者と受託者の責任分担等	7点
	各業務に対する理解 物品調達管理、経費支払代行、法定検査・点検、水質検査機器定期点検、機器定期整備、発生汚泥処理、環境整備、機材借上についての考え方・体制	10点
イ 事務処理の合理化	機器等定期整備の実施計画	8点
	包括的管理におけるコストの縮減対策	8点
	各種事務処理の業務量低減化	7点
④ 緊急事態時における体制、対応に関する事項		(30点)
ア 緊急事態における対応方針	自然災害、その他重大事故における対応	15点
イ 緊急事態時の初動対応、連絡体制、バックアップ体制	複数施設で発生した場合の初動体制、組織的なバックアップ体制	15点
⑤ 地域貢献その他提案に関する事項		(20点)
ア 本市の地域経済への貢献及びその他提案	地域経済の発展、本市にとって有益な提案	20点
⑥ ヒアリング時の対応		(10点)
ア 参加者の取組み姿勢	的確な説明、質問への応答	10点
⑦ 事業費に関する事項		(30点)
ア 運転管理業務に要する費用	実施要領様式第7号に記載された金額	30点

3. 審査項目の得点方法

得点については、別紙審査項目集表を用い次のとおり算出する。得点については、少数点第二位を四捨五入した値とする。

(1) 得点の定量化（事業費に関する提案を除く。）

提出された技術提案書について、審査項目（小項目）ごとにA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。項目ごとの配点に、Aについては1.0を、Bについては0.75を、Cについては0.5を、Dについては0.25を、Eについては0を乗じたものを審査得点とする。

次に示す5段階評価による得点方法により得点を付与する。

評価	審査の意味合い	得点方法
A	審査項目において要求水準を満たし特に優れている	配点×1.0
B	審査項目において要求水準を満たし優れている	配点×0.75
C	審査項目において要求水準を満たしている	配点×0.5

D	審査項目において優れているとはいえない	配点×0.25
E	審査項目において要求水準を満たしているとはいえない	配点×0

(2) 事業費に関する事項における得点化方法

$$\text{得点} = (0.5 - \frac{\text{提案書に記載された事業費} - \text{提案書に記載された各参加者の事業費の平均}}{\text{提案書に記載された各参加者の事業費の平均}}) \times \text{配点 (30点)}$$

なお、波線部の値が負の値となる場合は「0」、1を超える場合は「1」とし、計算する。